

島村抱月 しまむら ほうげつ 文藝評論家、新劇運動家。明治四年一月十日石見國生れ。大正七年十一月五日没（一八七一—一九一八）。舊姓佐々山、本名瀧太郎。筆名ほしづくよ、對基庵、島村生、嶋村抱月、嶋村瀧太郎、抱月子、抱月生、星月夜、郵洲生、T.S.等。明治二十七年東京專門學校文學科卒。二十五年歐洲留學。歸國後早稲田大學教授、雜誌『早稲田文學』復刊主宰、また坪内逍遙の文藝協會創立に加はるも、俳優松井須磨子との戀愛問題等により逍遙から離れ、大正二年藝社座を結成。その死後一カ月自ら須磨子の跡を追ひ自殺があつた。『抱月全集』全八巻（大正八年—九年大衍社）刊。

著譯書 『風雲集』 留外合著、明治二十二年四月二十八日春陽堂、
『近代松之研究』 合著・坪内逍遙編、明治二十二年十一月十五日春陽堂、
『創作苦心談』 合著、明治二十四年二月五日新聲社編刊、

『新美辭學』 （明治二十五年五月二十一日東京專門學校出版部）、早稲田叢書』、
『滯歐文談』 （英國現在の文藝）』 （明治二十九年七月二十一日春陽堂）、
『亂雲集』 （明治二十九年十一月十五日彩雲閣）、

『註近代世芸文學』 （共譯・高橋五郎編、明治四十一年四月二十十五日有朋堂書店）、
『近代文藝之研究』 （明治四十一年六月五日早稲田大學出版部）、
『ブーダーマン作『故郷』』 （譯及補、明治四十五年六月十八日金尾文淵堂）、
『イブセン作『人形の家』』 （譯、大正二年四月二十八日早稲田大學出版部）、
『イブセン傑作集』、
『マーテルリンク作『ペル』』

『マスとメリサンド・七王女』 （譯、大正二年五月）、
『現代社』 『近代脚本叢書』、
『現代』 （大正二年十一月）、
『千五百年の演劇』 『現代小治政叢書』、
『ヤンリ



十一月）

・又、バタエトイ作『脚本復活』(再脚色、大正二年二月十八日新潮社)、

『懷疑と沈黙の傍より』(大正二年六月十四日新潮社)、トマス・トイ

原作『戦争と平和』(譯編名義、大正二年七月十五日新潮社)、『世界大

著物語叢書』。宇野浩一他譯編)、シエクスピア作『ウレオ・パトラ』

(改作、大正二年十月二十一日新潮社)、『代表的名作選集』全四十

四編(生田長江、相馬桐風共編、大正二年十一月十八日一十五年九月二十八日新

潮社)、『最近科學發達中講話』(附・早稻田文學社編『近代美學講話

補遺』)(中澤臨川合著・早稻田文學社編、大正四年八月十四日文學

普及會『早稻田文學普及會講話叢書』)、セルヴンテス作『ドン・キ

ホーテ』全二冊(片山伸共譯名義、上、下、大正四年十一月十日植竹

書院。片上伸・村山某譯)、中村古藏作『真人間』(附・島村抱月『清

盛と佛御前』)(大正五年二月七日新潮社)、トマス・トイ作『戦争と

平和』全二冊(鈴木悅共譯名義、上卷、大正五年十一月十七日、下卷

・二十四日自樂分店。再刊一上卷、下卷、昭和二年六月一日二星社。

鈴木悅譯)、『藝術講話』(大正六年四月二十一日婦人文庫刊行會

『家庭文庫』)、『新日本見物』臺灣種大朝鮮滿洲青島之卷』(合著・金尾種次郎

編、大正七年六月十五日金尾文淵堂)、『運命の丘』(大正七年十一

月二十八日新潮社)、『代表的名作選集』)、『現代文章作法講話』(合

著・大日本文學會編、大正十二年十一月二十五日國民教育普及會)、

『抱月隨筆集』(宮島勲二郎編、大正十四年四月八日人文會出版部

『明治大正隨筆選集』)、『抱月全集』第一卷』(昭和四年二月二十

五日博文館)、小島集『別れの夜』(田山花袋、吉江狐庵合著、昭和二十一年五

月二十日神奈川・碧洋社)、『島村抱月著作集』一、一因はれたる文

藝』(昭和)二十二年四月、千代光書房)、高村抱月文藝評論集』
〔昭和〕二十九年三月、二十五日岩波書店「岩波文庫」)、『風雲集』(後
藤 齋外 原青夕園合著・川副國基解説、昭和五十年二月一日日本近代文学館
「近代文学研究資料叢書」)等。

文献、川副國基著『高村抱月の漢英滯英日記』(後藤 齋外、漱石、
荷風の外遊と對比と)、『昭和〕二十六年二月一日早稲田大學教育會
「教育會研究叢書」)、同『高村抱月一人及び文藝者として』(昭和
二十八年四月五日早稲田大學出版部「早稲田選書」)、尾崎宏次著
『高村抱月―日本近代劇の創始者かち―』(昭和四十年一月、千代光
來社)等。